

THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH

鳥取北ロータリークラブ

2020
2021

ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリーのテーマ

● 会長……宮崎 正彦 ● 副会長……松本 啓介 ● 幹事……森下 泰年

● 会計……笹野 眞紀 ● SAA……水野 治郎 ● 活動記録担当リーダー……堀 いづみ



例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日12:30~13:30

Tel.24-3536 Fax.29-6741

■ 創立: 昭和36年2月23日 ■ 事務所: 鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル

E-mail kitarc@infosakyu.ne.jp http://www.infosakyu.ne.jp/kitarc/

2021年3月23日(火)

第2896回

今週の例会

◆ ロータリーソング

鳥取北RCの歌

◆ 献立 上(井)

◆ 卓話

「R情報」

寺本光孝さん

「合同IM組織の説明」

千金実行副委員長

※例会終了後、合同IM実行委員会 例会場

2021年3月30日(火)

第2897回

次週の例会

◆ 唱歌 ふるさと

◆ 献立 和食

◆ 委員会事項 入会記念日御祝

◆ 卓話

衣 立夫さん

前回の例会

2021年3月9日(火)

会長挨拶

先週の、ぎんりんグループ代表の村上亜由美さんの卓話で、復興支援活動を10年も継続しているという話を聞き、大変感銘を受けました。本日は、違う側面から復興支援を考えてみたいと思います。

東日本大震災から10年で、総額37兆円を超える復興予算が投じられました。一部には二重投資に近いインフラ整備等ちぐはぐな事業も生まれています。例えば陸前高田市では高さ12.5mの防潮堤と、海拔10mのかさ上げの大型工事が、津波からの多重防御の名目で進められました。

しかしながら、工期が延びて、結果的に高台移転を選択した住民の多くは戻っていません。自治体がコンパクトな復興を目指して宮城県山元町では、被災した庁舎に隣接する公民館を役場に転用する復興計画を作りましたが、公民館の管轄は文部科学省なので、別枠の復興予算は使えないと言われ断念し、結果的に立派な新庁舎が建てられました。八戸から仙台まで総延長359kmの三陸沿岸自

動車道は総事業費2兆円。これまで交通量が見込めず建設が認められなかった区間も「創造的復興」という観点から建設されました。

被災地の復興は、最初はハードの復旧で、その後は安心・安全な状態をいかに取り戻すかという段階に移り、最終的に人々の暮らしを取り戻すことだと思います。きわめて単純化すれば、その土地に若者が留まり、次の世代を作っていくことが復興のはずですが、出来ていません。東日本大震災の前から過疎化が進んでいた市町村がほとんどです。大きな事業があり、地元の土木建築業者も受注が増え、多くの作業員が訪れ、繁華街も含めて一時的には潤いますが、しかし終わった後はむしろ悲惨な状態になっています。復興事業の終了により、衰退のスピードが速まる可能性もあります。

結局、インフラ整備やハードに多額のお金を投じて、地方の衰退は止められないという、現実の厳しさを知った気がします。

幹事報告

1. 到着文書

- 1) 高知北RCより2020-21年度クラブ活動運営計画書
- 2) 鳥取大学より風紋#68

2. 例会変更・メーキャップ情報

- ・米子中央RC
- 3/4(木)、3/11(木)短縮例会12:30~12:50
- 3/25(木)通常例会
- 何れもビジター受付なし

3. その他連絡事項

- ・玉木裕一さんの公示終了、3/19インフォメーション4/6入会
- ・梅田清志さん人事異動の為、3/19付退会
- ・齊藤敦さん人事異動の為、3月末退会
- ・4/10「合同IM」全員登録、原則全員参加。多くの

の参加をお願いします。

本日役割分担表配布。3/23例会で実行委より詳細説明

- ・「創立60周年記念例会」5/25に決定。通常の例会形式で実施
- ・新規米山奨学生(パクチャンヒョンさん)のカウンセラーは松原雄平さんに決定
- ・4/11春の山陰ジオパーク一斉清掃の参加者、現在4名。ふるってご参加を!
- ・次回3/16例会は休会です。

梅田清志さん退会挨拶

このほど異動で退会することになりました。短い間でしたが、皆さんには大変お世話になり有難うございました。

委員会事項

◎出席率報告

3月9日 会員44名 欠席13名 70.4%
2月16日 補正後 欠席12名 72.7%

◎国際奉仕米山担当入江さんより

今年度も3/23より寄付を集めます。どうぞ宜しくお願いします。

*スマイル報告(本日14,000円 累計383,370円)

宮崎正彦さん 先週水曜日、私と森下幹事、そして次年度会長・幹事予定者の松本さん、水野さん、それに田中さんの5名で里山事業でお世話になっている東部森林組合に訪問しました。引継ぎも兼ねた訪問で、組合長とも有意義な打ち合わせが出来て良かったです。

松本啓介さん 庭の木も芽吹いてきており、もうすぐ春ですね。本日の卓話、湊さんと福田さん、宜しくお願いします。

森下泰年さん 3月6日朝7:30、BSテレ東放送の「羽田土曜会」を観ました。ニッポンを元気にする地域の星を取り上げた番組です。「副業・兼業でリードする鳥取県」というタイトルで平井知事がリモート出演され、鳥取県の政策を熱弁されていました。そして番組の終盤になんと会員の米澤さんが登場し、熱く訴えていました。コロナが落ち着いたならば是非卓話で話を聞きたいです。

道上正規さん 湊さん、ロータリーライフを楽しんでください。

笹野真紀さん ①福田さん先日はお世話になりました。②バッジを忘れました。すみません。

福田 収さん 本日は久しぶりの卓話です。どうか宜しくお願いします。

梅田清志さん 我が鳥取温泉道に悔いなし! 2年間お世話になりました。本当に有難うございました。鳥取北ロータリークラブの益々のご発展と会員の益々のご健勝・ご多幸を心より祈念申し上げます。
山根京子さん 事務所の片づけをして耐震ポールを付けて頂きました。森下幹事、牧浦さんお世話になりました。

早退 1件

* 2大御祝(本日2,000円 累計110,000円)

田村文男さん 誕生日(1月)

卓話

「自己紹介」

初めに、弊社の紹介をさせていただきます。

鳥取県情報センターは県内の自治体における業務処理を電算化し、事務効率の改善を図ることを目的に昭和44年に財団法人としてスタートしました。その後、鳥取県内の自治体に行政サービスを提供する中で培ったノウハウを全国展開するため、平成21年に財団法人を解散し、株式会社として再出発いたしました。現在、行政システムの構築・運用、アプリケーションの開発、クラウドサービスなどを主な業務として、鳥取県内外の自治体や民間企業などにサービスを提供しております。

昨年、菅内閣が発足し、デジタル化がますます加速してっております。ITの業界では、10年程

湊 正彦さん



度かかっていた変化がこの1、2年に凝縮されたようなスピード感でとらえられています。

このような状況の中、最も気を付けなければならないことはセキュリティー対策です。先日は県警のサイバー犯罪対策課の福井警部補から卓話がありましたが、企業(会社)にとっても対策が必要なのはいうまでもありません。いくらIDやパスワードで第三者の侵入を防ごうとしてもたやすく突破されます。最新のセキュリティーシステムを導入したとしても、それを上回る手口がすぐに実行されるため、定期的にセキュリティーシステムのバージョンアップをお勧めいたします。

次に、「2025年の崖」という問題があります。これは老朽化や複雑化でブラックボックス化したシステムによって、DXの波に乗り遅れて莫大な経済損失が発生する可能性があるという指摘されています。経済産業省のレポートでは、これからのデジタル社会に対応するためには、この老朽化した既存システムを見直すことが必要不可欠であるとしております。皆様もITシステムがどうなっているか一度点検されてはいかがでしょうか。

最後にマイナンバーカードに触れておきます。今、マイナンバーカードが保険証として使えるということで3月から申請・登録が始まっており、私も先日手続きをスマホで行いました。当然保険証のデータをマイナンバーカードに読み込む作業があると思っていたのですが、そのような作業は一切なく登録が完了しました。病院に行ってマイナンバーカードの読み取り機にカードをかざして保険証の確認が行われるということですが、マイナンバーカードの情報と保険証の情報とはどこで連携されているのか全くわかりません。病院の窓口で混乱が生じないように願っております。

「ミツバチの話」

福田 収さん

今日はミツバチの話をしていただきます。

養蜂場の主な仕事に蜂蜜を採集することがあります。そして、花の種類によって蜂蜜の風味や色が違います。鳥取では主にれんげ、アカシヤ、とち、その他色々な花蜜をもまとめて百花として採集します。

もう一つ、ミツバチには重要な役割があります。それは花粉交配です。ミツバチの訪花によって果物や野菜の受粉のお手伝いをしています。11月～3月はハウスいちごの交配でミツバチが活躍しています。

次にミツバチの社会についてお話しします。

ミツバチは1匹の女王蜂と約3万匹(春・夏期)の働き蜂(全て雌蜂)と若干の雄蜂が1つの巣箱で暮らしています。女王蜂は卵を産むのが仕事です。働き蜂は産卵以外のすべての仕事をします。雄蜂は働きません。

私たち養蜂家は健全なミツバチを育てる事が大切ですが、最近では農業や環境ホルモン等の影響からミツバチが育てにくくなりました。以前はもっと楽に飼育が出来ていたように思います。環境悪化はまず、弱い生物から蝕んでいきますから。ミツバチからのひとつの警鐘かもしれません。

(担当 足立日出男)

